

和良の郷移住だより

2020年(令和2年)
5月1日(金曜日)
発行：和良おこし協議会
郡上市和良町下洞554
0575-77-2277
info@waraokoshi.com

和良おこし協議会



いいあんばいの田舎「和良の郷」

岐阜県郡上市和良町は平成16年に町村合併するまでは郡上郡和良村でした。明治27年に和良村が誕生してから115年間、単独村として先人より代々受け継いできた小さな農山村です。

日本一うまい和良鮎がとれる清流和良川に沿って田んぼが広がり、集落が点在しています。現在の人口は1616人(令和2年4月現在)ですが、50年前は3471人でした。地元で産業が限られるため、多くの人は近隣の町に車で勤めに出ています。休日には、食べる分だけのお米や野菜を作ったり、草刈りをしたり、夏には和良川で鮎を釣ったり、地域の行事に参加するなど、都会にはない田舎ならではの忙しさもあります。和良の郷では高齢者も元気で生涯現役が普通です。

こんな小さな和良の郷ですが、コンビニはありませんが、小さなスーパーがあつて、診療所があり、モダンな新ストロブのある振興事務所(市役所の出先機関)があり、歯科があり、老人保健施設があり、保育園があり、小中学校があり、農協、郵便局、信用金庫があり、派出所があり、消防署があります。見わたすと緑豊かな山林があり、里を流れる川にはオオサンショウウオや蜚などたくさん

生き物が棲み、季節の野菜が収穫できる畑や、美味しいお米がとれる田んぼがあり、そこには、ひとつつこい人もいっぱい住んでいます。

ちょうどいい田舎に、背伸びしない普通の暮らし、人間らしい暮らしがある。これが和良の郷の人気の秘密です。また、集落でうまくやっていけるように少しオセツカイを焼く和良おこし協議会の存在も、移住者にも集落にも受け入れられているようです。



和良の郷に移り住んだ人 「休日はウチの前で畑をやっています」

和良おこし協議会が平成27年度から始めた空き家を活用した移住促進も5年が過ぎました。この小さな里に移住した人は既に29世帯61名。高齢のご夫婦から、赤ちゃんを抱えた若夫婦、単身の若者、農家を目指すご夫婦、お店を開業したご夫婦など、様々です。

子ども達をわんぱくに育てたいとか、自然を感じる生活がしたいとか、集落の活動やお祭りに参加したいとか、休日にはちよつとだけ畑をやったり、和良川に釣りに出かけるなど、それぞれやりたい事はたくさんある様です。

お友達を呼んでちよつと自慢などという場面もある様です。

都会にはない田舎ならではの人付き合いや集落の行事、そして冬の厳しい寒さなど、自分の思い描いた田舎暮らしとのギャップに戸惑う事もあるかも知れませんが

目的はいろいろですが「ここにきてよかった」と明るく話していただける方の存在も確実にあります。

この地で暮らしに行く目標を定めて、和良の郷の時間を楽しんでいるようです。



移住促進・定住支援 なぜ今、移住なのか

和良町では、「みんなで楽しく暮らし続けられる集落」を目指して、いろいろな取り組みが行われています。そんな活動の一環に、集落内の空き家を活用して、この里に新しく住んでもらう人を歓迎する移住促進と定住支援があります。

それはなぜか？と言うと。移住した人たちから、和良の良さを、改めて教えられることが多いからです。ずっと和良に住んでいる人たちが、訪れた人たちから元気と発見をもたらして、いつしよになつて集落づくりができると考えるからです。

和良の郷で、質素ながらも心豊かな暮らしをしてみたい方を、住民みなさんでお待ちしております。田舎暮らしの第一歩を、この和良の郷で踏み出してみませんか。

田舎暮らしをはじめするには 田舎暮らしの「コツ」教えます

ひとつは「仲間づくり」だと思っています。
集落には、自治会長さんをはじめ、必ずキーパーソンとなる人がいます。集落のまとめ役だったり、気軽に相談に乗ってくれる人だったりします。そんな人たちからの支援の取り付けは大きな財産となります。

和良おこし協議会では、移住者が集落と一緒に暮らしていく仲間として、紹介に努めています。ご近所へのあいさつ回りにも同行します。わからないことがあったら、まずはご近所さんにも頼ってください。

方言もあるので、よくわからないことがあ

りましたら、和良おこし協議会もどんどん活用してください。田舎暮らしのだいご味は「人づきあい」であって、ちよつと気をつかうのも「人づきあい」かもわかりません。

また、定住支援として、先輩移住者と出会える場面や、移住者どうしで自由に語り合える場。地元住民と出会う場づくりも開催していきます。

そういった場所にどんどん参加して行ってお友達づくりや、いろいろな相談をしてください。

和良町には、空き家を活用した移住促進と定住支援に取り組む団体「和良おこし協議会」があります。地元住民らが参加する地域づくり団体で、移住相談の窓口として、移住者と集落をつなぐ案内人として、また、大家さんへの仲介役として活動しています。和良おこし協議会の事務局がある施設「わらおこし」を拠点に移住相談をはじめ、自治会と協力しながら地域の活性化支援なども行っています。

ここを窓口、前もって和良のことや、「田舎での生活とはどんなものなのか？」などをよく知ってほしいと思います。空き家へは担当者をご案内しております。空き家の情報は写真や住所などは公開しておりません。和良町を訪れていただき、ここでの暮らしをイ



メージしていただきたいと思っています。

和良おこし協議会では、集落に駆け込んで顔を合わせて、集落住民の一員として前向きに暮らしたい人の移住を応援します。

少しづつでもかまいません。自分なりの視点で、ここに暮らす「小さな意味」を、ぜひ見つけてください。

すべての人の田舎暮らしがうまくいくとは限りませんが、一緒に考え、精いっぱいお手伝いをします。

和良の郷でお会いしましょう

和良の郷で暮らす。

それはひとつの物語のはじまりかも知れません。

素晴らしい出逢いが、ありますように。

移住のお問い合わせは

501-4511 岐阜県郡上市和良町下洞 554

和良おこし協議会（担当：加藤）

電話：0575-77-2277

Mail：info@waraokoshi.com

和良町の最新情報は「和良おこし協議会」のFacebook、Instagramからご覧いただけます。和良町の「空き家情報」は、郡上市の「住宅・空き家情報」からもご覧いただけます。



和良の郷に移り住むには

和良おこし協議会を訪ねてください

コンビニはないけれど
病院とか学校とかスーパーはあるし
市街まではそうからんし
下田温泉も近いし
はかは、まあ山と川しかないけれど
高もすごいあるし
ジビエも野菜もすごいおいしいし
日本一の鮎が買えるくらい
川はすごくきれいだし
冬は雪も降るけれど
ひとことというなら、

いいあんばいに田舎です。

わら 和良町

移住者募集中

和良町 <http://waraokoshi.com>

移住から定住までを支援。まずはご相談ください。

和良おこし協議会

☎0575-77-2277 E-mail: info@waraokoshi.com

和良の町で暮らすには <https://www.facebook.com/waraokoshi/>

FACEBOOK

月～金曜日、午前9時～午後5時（土日祝休）